

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第467号 2012. 8/3

社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 高橋 廣

目 次

納涼会～新旧理事が参加大野会長挨拶…… 1	事務局レポート 理事会議事録…………… 5
会員業況アンケート調査結果〈全国版〉… 3	支部会開催等…………… 6
成形加工学会'12年次大会を聴講して(四季)… 4	暑中広告…………… 8

納涼会～新旧理事が参加、大野会長挨拶

～「選択と集中」のウソ、撤退だけではだめ、
持続的に成長するには「投資の決断」が大事では～



【納涼会で挨拶する大野会長】

平成24年7月12日(木)第323回理事会終了後、17時より八重洲富士屋ホテルの3階「紅葉」にて協会役員の大先輩でいらっしゃる森田相談役をお招きし、新旧理事等32名が参加し賑やかに納涼会が開催されました。

最初に大野会長が以下の挨拶を申し上げました。

「本日はお忙しい中また暑い中をお集まりいただきありがとうございます。

最近の明るい話題としては、二つあると思います。一つは、7月初め発表の日銀短期経済観測調査によると「設備投資復調の兆し」が上げられます。昨年度大企業の設備投資はマイナス1.3%で、4年連続の前年割れで終わりました。今回6月時点調査では大企業製造業の同投資は+12.4%との結果が出ました。これは6年ぶりの高い数字だそうです。

もう一つは、日本からの海外M&Aの件数が過去最高となり、金額で過去2番目だそうです。金額は3兆4900億円(前年9%増)、件数では262件(前年15%増)となり円高を有効に利用した結果であったと考えられます。

「選択と集中」のウソの題名で以下の記事が出ていたのでご紹介します。

1950年代アメリカに二大家電メーカー「ゼニス・エレクトロニクス」と「RCA」の会社がありました。「RCA」は、カラーテレビの標準方式を作り、1953年にはビデオレコーダーの実験に成功した企業だそうです。テレビ産業の礎を築いた両社は1980年代に「選択と集中」を続けた結果、エレクトロニクス産業から姿を消したそうです。「ゼニス」は、韓国LG電子に吸収されました。「RCA」は仏トムソンの一ブランドに納まっているそうです。80年代の「ゼニス」と「RCA」がとった行動は、今の日本の電気メーカーとそっくりだそうです。安く、大量に作ることが得意の日本メーカーとの競争を避け、「次世代技術」に集中したそうです。両社からの生産受託で力をつけた日本メーカーに世界市場を奪われたそうです。

日本メーカーを韓国・台湾メーカーに、米メーカーを日本メーカーに置き換えれば、そのまま現代の構図になります。

「選択と集中」で社会インフラに軸足を移した日立製作所と東芝は利益を上げております。

家電3社(パナソニック・ソニー・シャープ)が苦しみテレビ事業で日立と東芝は海外へ生産委託を進め赤字の芽を摘みました。それ自体は迅速な経営判断と評価できるそうです。

しかし、気になるのはテレビに代わる成長事業が見えないことだそうです。

例えば、日立は世界先端を走ったメインフレーム(大型汎用コンピューター)や半導体事業をやめ、パソコンをやめ、米IBMから買収したハードディスク駆動装置(HDD)を売却し、テレビの国内生産も打ち切った。しかし、それに見合う新規事業は生まれていない。

今、日本の電気大手は「選択と集中」の名の下に「撤退」を繰り返しているように見える。

新たな投資の決断を伴わない単なる撤退を安易に「選択と集中」と呼ぶべきでない。このように結んでいます。

私にとっても耳が痛い話です。しかし大事なことは、撤退だけではだめだよ。持続的に成長するには「投資の決断」が大事と言わんとしていると思います。

まだまだ厳しい状況が続くと思いますが、あきらめずに素直な気持ちを持続することも大事だと思います」

この後、永年に亘り当工業協会の理事、副会長職を務め、その発展に多大な貢献を賜り、さる5月の通常総会で退任された五十嵐貞行氏(株イガ

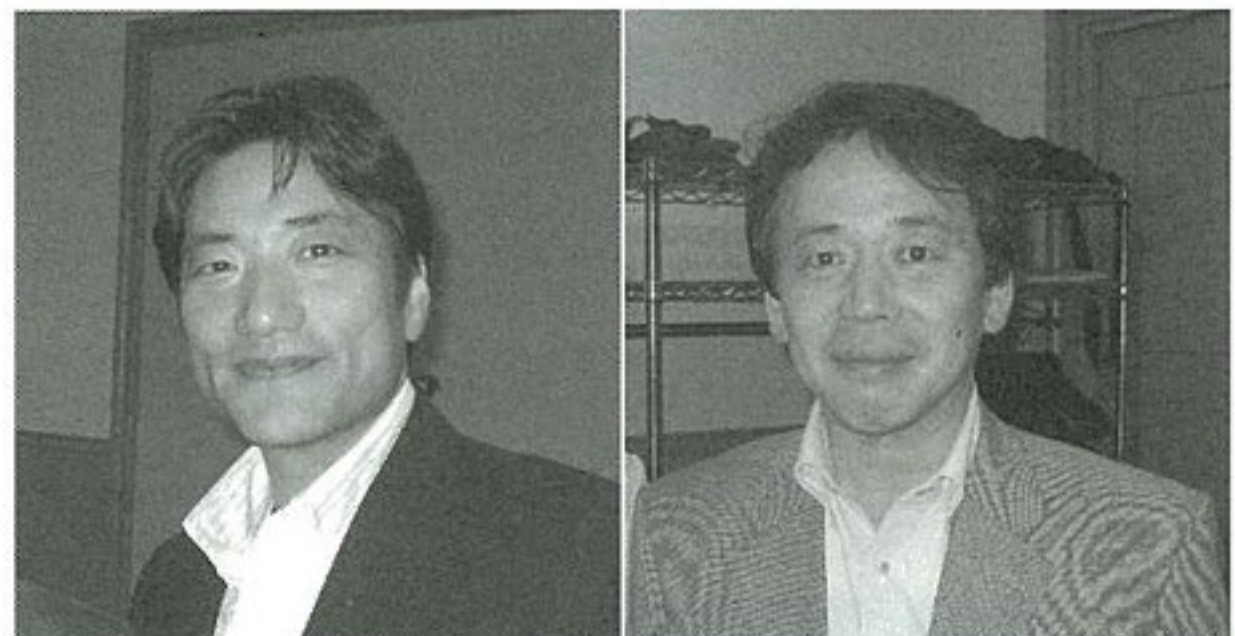
ラシコーカ代表取締役会長)に感謝状と記念品が授与されました。また同じく退任理事の植田好司氏、柴孝幸氏、井上雅博氏には記念品が贈られました。



【会長から五十嵐氏へ感謝状】

代表して、五十嵐氏より、JPO時代から当協会事業に参加してこられた数々の思い出、とりわけ得がたい仲間達との交流が会社経営にとり貴重な財産になったことなどご挨拶を戴きました。

今回納涼会には、新たに理事に就任した山下電気(株)山下慎一郎社長、栃木県プラスチック工業振興会池添亨副会長が初参加した他に、当協会相談役の森田章氏も駆けつけて戴きました。



【新理事 山下慎一郎氏】 【新理事 池添 亮氏】



【齋藤連合会長乾杯】

その後、全日本プラスチック製品工業連合会の6月の総会で第18代会長に就任された齋藤森作氏(株荒川樹脂代表取締役社長)の乾杯の発声で賑やかに納涼会が始まりました。

《平成24年4月～6月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 243社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	89社	神奈川県	30社	中部日本	47社	西日本	77社
-----	-----	------	-----	------	-----	-----	-----

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	34社	包装用容器・キャップ	37社	電気・電子・通信部品	55社
自動車・輸送機器部品	67社	住宅関連	9社	医療機器	8社
その他	27社				

3. 従業員数の内訳(パートを含む)

20人以下	63社	21～50人	64社	51～100人	54社	101～300人	45社
301人以上	14社						

4. 今期(平成24年4月～6月)の自社業況について(前期比・前年同期比%)

【※3ヶ月前比率/今回比率】

	平成24年4月～6月(実績)					
	前期(24年1月～3月)比			前年同期(23年4月～6月)比		
	1. 増加	2. 横這	3. 減少	1. 増加	2. 横這	3. 減少
1) 生産・売上高	23.2/25.1 ↗	38.3	37.3/36.2 ↘	35.5/37.9 ↗	25.9	35.9/34.6
2) 製品単価	3.6/3.7	74.9	18.5/21.4 ↗	8.0/6.6	66.3	29.3/25.1
3) 採算	12.0/12.8 ↗	52.7	37.7/34.2 ↘	18.1/23.9 ↗	44.0	38.8/30.5 ↘
4) 所定外労働時間	19.2/17.3 ↘	58.8	23.9/23.5	22.5/29.6	45.7	23.9/22.6
5) 製品在庫	15.9/16.5	59.3	23.2/23.5	17.8/20.6	54.3	22.1/22.2
6) 材料原料単価	41.7/35.4 ↘	60.9	2.5/3.3	51.4/50.2	44.4	2.9/2.5
7) 総合判断	12.3/10.3 ↘	55.1	34.4/34.2 ↘	18.5/25.1 ↗	44.0	37.0/28.8 ↘
8) 24/7-9の見通し	1. 好転	2. 横這	3. 悪化	-	-	-
	13.8/8.2 ↘	62.6	34.4/25.1 ↘	-	-	-

5. 当面の経営上の問題(%)

【※3ヶ月前比率/今回比率】

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合
45.7/50.2 ↗	2.9/4.1	47.1/42.0 ↘	6.9/5.8	18.8/19.3	12.0/11.5
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行の貸渋り	11. 人件費高	12. 技能者不足
7.6/7.0	54.3/39.1 ↘	5.4/4.9	2.2/1.6	16.7/13.2	14.5/18.5 ↗
13. 技術力不足	14. マーケティング力不足	15. 設備過剰	16. 法的規制	17. 為替問題	18. 環境問題
13.0/13.6	10.5/10.3	4.3/4.1	1.4/2.1	7.2/10.3 ↗	2.9/0.8
19. 人材育成	20. 研究開発	21. 事業承継	22. その他		
27.9/32.9 ↗	4.3/5.3	5.1/5.8	3.3/2.9		

22. その他の意見

成形機設備の老朽化、品質レベルの上昇に伴い不良率の増加が目につく、派遣法問題、電気料金値上げ、輸出不振/金融不安、電気賦課金による原価高、海外移転/技術開発

プラスチック成形加工学会'12年次大会を聴講して

—炭素繊維複合材料に関する基調講演から—

(四季)

第23回プラスチック成形加工学会の年次大会は6月12日、13日の2日間にわたって、前回同様に江戸川区のタワーホール船堀を会場として開催された。前年度の参加者は880名強であったが、本年度はさらに増えて928名と報告されている。ここでは、聴講した発表テーマの中から、特別セッション「複合化、混練技術を拓く未来」の基調講演「炭素繊維複合材料の市場拡大に向けた取り組み G113」(経済産業省 奥村浩信氏)を取り上げ、その概要を以下に紹介する。

炭素繊維は鉄に比較し、①比重は約1/4と軽い、②10倍強い、③4倍硬いなどの特徴があるので、軽量構造部材の強化材として世界的に需要が拡大しており、世界全体の生産量は4万トンに達している。我が国の炭素繊維メーカーは東レ、帝人(東邦テナックス)、三菱レイヨンであり、この3社で世界市場の約70%のシェアを占めており、我が国が圧倒的な競争力を持っている素材である。

炭素繊維は我が国として競争力のある素材ではあるが、それらの市場は欧米や中国が中心であり、国内の消費量は世界需要の1割弱と極めて少ない現状にある。これは炭素繊維の主な用途が航空宇宙、風車、スポーツなどに限定され、これらの需要が国内にはほとんどないためである。そのため、炭素繊維や炭素繊維強化樹脂(CFRP)の加工メーカーや装置メーカーが十分育っておらず、加工技術の開発も進んでいない。その結果新たな需要も生まれにくいという負の循環にある。

しかし、最近では、炭酸ガス(地球温室効果ガス)の低減や省エネルギーが強く求められ、これらの環境・エネルギー問題を解決する方法の1つとしてCFRPが注目を集めている。CFRPを輸送機器に使用することによって、軽量化による燃費改善効果が得られ、結果として炭酸ガス排出量の削減につながる。昨年就航したボーイング787の機体には重量比で50%にCFRPが使用され、約20%の燃費改善に成功している。今後は、運輸部門からの炭酸ガス排出量の80%を占める自動車、鉄道車両などにもCFRPを使用することにより、さらなる炭酸ガス排出量の削減を図るべく経済産業省の主導のもと研究開発が進められている。

現在、航空機等で実用化されているCFRPは熱硬化性樹脂(エポキシ樹脂)と炭素繊維の複合材料であり、オートクレーブ成形法での成形時間は数時間、RTM(レジン・トランスファー・モルディング)成形法では10分程度を要するが、自動車などの量産型製品にCFRPを使用するためには成形時間を1分程度にまで短縮する必要がある。また、熱硬化性樹脂製品ではリサイクル性にも課題がある。このように成形サイクルの短縮、リサイクル性の点から熱可塑性CFRPの成形加工技術の開発が活発化しつつある。

成形加工技術開発の大型プロジェクトとしては、平成20年度から東京大学を拠点として、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、炭素繊維や樹脂メーカーなどと連携して、「サステイナブルハイパーコンポジット技術の開発」事業として、熱可塑性CFRPの成形加工技術の開発に取り組んでいる。具体的には平成24年度までに①熱可塑性CFRPの中間基材、②高速成形技術、③接合技術、④リサイクル技術などを開発する計画が進められている。

構造部材にCFRPを採用することによって輸送機器からの炭酸ガス排出量を削減できるが、炭素繊維そのものの製造プロセスについてみると、炭酸ガス排出量の削減や将来の需要増加に対応した生産性向上などの課題が残されている。たとえば、炭素繊維と鉄を比較すると、製造時の消費エネルギーと炭酸ガス排出量は、それぞれ鉄の約10倍大きい値である。そこで平成23年度から東京大学を拠点として、独立行政法人産業総合技術研究所および炭素繊維メーカーが連携して炭素繊維製造工程における消費エネルギーと炭酸ガス排出量の半減、生産性の10倍向上を目標とする新製造法の実現に取り組んでいる。平成27年度までに、①炭素繊維の原料であるアクリル繊維を空気中で長時間をかけて焼成する工程(耐炎化工程)を省略し、マイクロ波を使用するプロセスに転換するための基盤技術を開発する、②そのため炭素繊維の原料を新たに探索し、その合成・製糸技術の開発も同時に進める、などの技術開発を推進している。

(案山子)

事務局レポート

■第323回 理事会議事録

1. 日時 平成24年7月12日(木)
16時00分～16時55分
2. 場所 八重洲富士屋ホテル 3階「赤松」
3. 出席者
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 大野 泰昭 | 大井 英一 | 大塚 一郎 |
| 佐藤 昭 | 池下 龍 | 鈴木 幸雄 |
| 竹下 富男 | 嶋田 修二 | 内藤 隆夫 |
| 山下慎一郎 | 白石 恵一 | 平塚 隆文 |
| 上村 俊彦 | 齋藤 森作 | 福田 晴通 |
| 飯高 一郎 | 小松 幹也 | 関根 忠 |
| 檜山 徹 | 渡辺 辰巳 | 武田 久徳 |
| 井口 孝司 | 池添 亨 | 古澤 正弘 |
| 高橋 廣 | | |

4. 議事録署名人

議長は、定款第31条2項により、関根 忠理事、平塚隆文理事を議事録署名人に指名し、了承された。

5. 議事録署名人

議長は、定款第31条2項により、上村俊彦理事、小松幹也理事を議事録署名人に指名し、了承された。

6. 議 事

議題1. 経過報告(前回理事会以降の主要行事)

- (1) 役員会等の開催
- | | | |
|-------|----------|-------|
| 5月24日 | 第44回通常総会 | 上野精養軒 |
| 5月24日 | 第161回幹部会 | 上野精養軒 |
| 5月24日 | 第321回理事会 | 上野精養軒 |
| 5月24日 | 第322回理事会 | 上野精養軒 |
- (2) 部会・委員会の開催
- ① 技能検定運営委員会
- | | | |
|-------|------------------|-----|
| 5月31日 | 前期検定 首席検定員・事務局会議 | 都技能 |
| 6月12日 | 水準調整会議 | 板橋校 |
| 6月16日 | 実技試験実施説明会 | 板橋校 |
- ② 能力開発推進委員会
- | | | |
|-----------|---------------|--|
| 6月23, 24日 | 技能向上講座(学科コース) | |
|-----------|---------------|--|

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 6月30, 1日 | 技能向上講座(実技Aコース) | 板橋校 |
| 7月10日 | 講師会議 | 東日本協会 会議室 |
| ③ 青年経営研究会(JPO) | | |
| 5月29日 | 役員会 | 東日本協会 会議室 |
| 6月16, 17日 | 定例会・懇親ゴルフ | フィットリゾート・富士桜CC |
| ④ APM会 | | |
| 6月13日 | 第159回例会 | 久能CC |
| (3) 支部会等の開催 | | |
| 6月8日 | 新潟支部、新潟県プラ振興会総会 | |
| 6月20日 | 埼玉県プラ振興会総会 | |
| 7月3日 | 墨東支部会 | 東武ホテルレバント |
| 7月5日 | 都心支部会 | 日本橋いづみや |
| (4) 全日本プラ連合会 | | |
| 6月5日 | 技能検定推進委員会 | 八重洲富士屋ホテル |
| 6月7日 | 第51回通常総会 | ヒルトン大阪 |
| 翌日 | 親睦ゴルフコンペ | 飛鳥CC |

議題2. 会員の入会・退会承認の件

- (1) 退会の部
- 正会員 2社
- ①会社名 (株)玉田製作所
- ②会社名 (株)タカハタプレシジョン
- 賛助会員 1社
- ①会社名 (株)日本エム・ケー・エス

議題3. 各部会・委員会構成、役割分担の件

委員会・部会の体制、7つの委員会、3つの部会プラス2つの小部会について概略を説明、5月の役員改選及び支部長交代等に伴う一部委員の入れ替えをさせていただいた旨。

また、来年11月が創立50周年にあたり、「50周年記念事業委員会」設置の提案を行った。

メンバー構成は、総務委員会と同様に正副会長並びに各支部長から成る人員構成を提案した。

議場より、総務委員会と同じであれば、委員長は大井総務委員長にお願いすることが提案され、承認された。

また、理事は基本的に何れかの委員会・部会へ入ることになっており、今回新理事の山下理事は、同社先代、先々代も活躍された能力開発

推進委員会委員へ推薦され本人も了承した。

議題4. 一般社団法人への移行準備の完了に伴う 臨時総会開催の件

来春、現社団法人は解散し、新たに一般社団法人を設立することが先般の総会で決議された。

については、下記の議題（新定款と公益目的支出計画等の内容と内閣府への申請時期、一般社団法人設立時期等）について、臨時総会へ諮り、手続きを進めたい旨お願いした。

臨時総会の開催日：9月12日(水)14時からの第324回理事会終了後、15時に開催予定。

議題：①一般社団法人定款、公益目的支出計画の件

②その他（申請時期<24/9月予定>、一般社団法人化<25/4月予定>

臨時総会終了後、速やかに内閣府へ一般社団法人移行の申請を予定。

報告事項

- ・50周年式典会場候補について
- ・6月末会員アンケート調査結果について
- ・本日の納涼会
- ・その他 本部：6月末残高試算表
一般社団法人の定款（素案）
その他配布資料
プラスチック製品製造業の各種統計資料 参考資料
次回第324回理事会：9/12(水)14時（臨時総会）
連合会：10/4 第170回理事会＝名古屋プラ展会議場で開催

以上をもって、第323回理事会における審議を終了し、議長は16時55分、理事会の閉会を宣した。

■支部会開催等

【墨東支部会】

7月3日(火)、東武ホテルレバント東京で墨東支部会が開催されました。総勢21名が参加、今回は本部から大野会長が昨年5月就任以来はじめて参加し、新会員の三辰プラスチック(株)臼井社長も加わって賑やかに始まり、途中参加者全員が3分間で自己紹介又は近況報告を行い情報交換の輪が広がりました。



【都心支部会】

7月5日(木)日本橋「いづみや」で9名が参加し開催されました。支部長職を14年間務められた大野社長から五合化学(株)鈴木社長へバトンタッチが実現し、新たな支部体制がスタートしました。今回は昨年新会員になられたリプロントーワ(株)春日部社長も出席し、各参加者が全員自己紹介し、親睦を深めました。



臨時総会開催のお知らせ

一般社団法人への移行申請を行うことが5月の通常総会で承認されましたが、9月の移行申請に際し、新定款並びに公益目的支出計画については総会の承認が必要なため、それら案を総会に上程し審議戴くために今回、下記の通り臨時総会を開催するもの。正式ご案内は別途。

- ・臨時総会開催日時 平成24年9月12日(水)15時～15時40分
- ・同上開催会場 東日本プラスチック工業厚生年金基金会館 4階 会議室
東京都台東区柳橋2-21-8 TEL.03-3862-4308



暑さ厳しい折柄
皆様の御健勝を
お祈り申し上げます

平成二十四年

暑中お見舞い申し上げます



<p>旭モールディング株式会社</p> <p>代表取締役 福田晴通</p> <p>〒116-0002 東京都荒川区東尾久五-1-1 電話 〇三(五八五五)三五六〇</p>	<p>浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田修二</p> <p>〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1 TEL 0555-73-2831 FAX 0555-73-2832 URL: http://www.asama-gosei.jp P-E-mail: shimach@poplar.ocn.ne.jp</p>	<p>株式会社アフター</p> <p>代表取締役社長 実方京一郎</p> <p>〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-5 TEL03(5537)1238 FAX03(5537)1236 URL: http://www.aftr.co.jp E-mail: info@aftr.co.jp</p>
<p>株式会社荒川樹脂</p> <p>代表取締役 齋藤森作</p> <p>〒116-0002 東京都荒川区荒川五-1-39 電話 〇三(三八九二)五七二一(代)</p>	<p>株式会社イガラシコーカ</p> <p>代表取締役 五十嵐貞行</p> <p>創業八十七年 最古の歴史・最新の技術</p> <p>本社 〒213-0001 川崎市高津区宇奈根七-20-13 電話 〇四四(八五〇)一七二七(代)</p>	<p>株式会社石黒製作所</p> <p>代表取締役社長 大野泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712 URL: http://www.pla-part.com/</p>
<p>石田プレス工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 安達七郎</p> <p>本社 〒164-0011 東京都中野区中央一-1-4 電話 〇三(三三三六)一六七三(代) FAX 〇三(三三三六)一六七三(代) 埼玉工場 〒347-0015 埼玉県加須市上種足一-1-8 電話 〇四八〇(七三三)二二八(代) FAX 〇四八〇(七三三)五九九六</p>	<p>enplas 株式会社エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048 (253) 3 1 3 1 (代) http://www.enplas.com</p>	<p>大塚産業株式会社</p> <p>代表取締役会長 大塚一郎</p> <p>代表取締役社長 原田裕司</p> <p>〒130-0005 東京都墨田区東駒形二-1-18 電話 〇三(三六二五)五六五(代) FAX 〇三(三六二五)三二一六五</p>

 <p>先進技術とトータルシステムで貢献 株式会社 カワタ</p> <p>取締役 営業部門統括 柴 孝 幸</p> <p>〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6 茅場町スクエアビル6F TEL 03-5645-7880(代)</p>	<p>電話 〒174-0065 〇三(三九九三二二) 六三一 一</p> <p>代表取締役 工藤 哲夫</p> <p> 工藤プラスチック工業株式会社</p>	<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗剤の製造販売</p> <p> KOBEGOSEI 神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮岡 督修</p> <p>本社：兵庫県小野市匠台10番地 TEL:(0794)64-7771(代) FAX:(0794)64-7772 URL:http://www.kobe-gosei.co.jp</p> 
<p> 株式会社 サトーゴーセイ</p> <p>代表取締役社長 佐藤 昭</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel:03-3955-4066 Fax:03-3955-2081 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>	<p>本社 電話 〒111-0052 〇三(三八六三) 三五四八(代) FAX 〇三(三八六三) 三五七九</p> <p>代表取締役社長 平塚 隆文</p> <p> 株式会社 三光社</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p> 白石工業株式会社</p> <p>代表取締役会長 白石 恵一 代表取締役社長 白石 創士</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301(代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>
<p>STAR</p> <p>関東支店 支店長 三浦 基</p> <p> 株式会社 スター精機</p> <p>関東支店 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町3241 電話 0283-24-8211 FAX 0283-24-5687 東京営業所 03-5615-3925 仙台営業所 022-249-4691 神奈川営業所 046-400-7161 新潟営業所 025-287-5081 甲信営業所 0268-51-5230</p>	<p>電話 〒171-0814 〇四(七一三三) 〇四七 一〇</p> <p>代表取締役 曾我部</p> <p>取締役会長 曾我部</p> <p>株式会社 新上</p> <p>千葉県柏市正連寺 大上</p>	<p> 株式会社 新上</p> <p>電話 〒171-0814 〇四(七一三三) 〇四七 一〇</p> <p>代表取締役 曾我部</p> <p>取締役会長 曾我部</p> <p>株式会社 新上</p> <p>千葉県柏市正連寺 大上</p>
<p>電話 〒232-0132 〇四二(七七四) 八九一 一</p> <p>代表取締役 生倉 茂</p> <p> セイチョー工業株式会社</p>	<p>電話 〒131-0083 〇三(三六七五) 二七三一</p> <p>代表取締役 奥山 英明</p> <p>拓水工業株式会社</p>	<p> 業務用調理機器</p> <p>株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長島 勝敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 TEL047-438-3411(代) FAX047-438-3413 e-mail:peels@chiba-ind.co.jp URL:http://www.chiba-ind.co.jp</p> 

平成二十四年



暑中お見舞い申し上げます

平成二十四年

暑中お見舞い申し上げます



<p>Human Chemistry, Human Solutions TEIJIN</p> <p>帝人化成株式会社 代表取締役社長 福田 善夫</p> <p>〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1(霞が関コモンゲート西館) 電話03(3506)4771 FAX03(3506)4760</p>	<p>TECHNO テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 野本 義三</p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoseiko.com/ E-mail:info@technoseiko.com</p>	<p>TOSHIBA 東芝機械株式会社</p> <p>取締役社長 飯村 幸生</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0300 FAX: 03-3509-0331</p>
<p>長野県プラスチック工業会</p> <p>会長 榎山 徹</p> <p>〒380-0935 長野市中御所一丁目二〇一 裾花ビル二階 FAX 026-262-1556 電話 026-262-1556</p>	<p>おかげさまで70周年</p> <p>NIPPLA 日本プラスチック工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 浅見 好邦</p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 電話 03(3807)8651番(代表) FAX 03(3807)8653番 携帯 090(3404)8213番 FAX 03(3807)8664番(直通)</p> <p>さいたま工場 埼玉県さいたま市見沼区宮ヶ谷塔3丁目349番地 電話 048(683)7281番(代表) FAX 048(683)7282番 http://www.nippla-web.co.jp E-mail:info@nippla-web.co.jp</p> <p>関連会社 北京東潤中天商貿有限責任公司・青島上青包装材料有限公司 康盛福(厦門)生物科技有限公司・濟南飛潤經貿有限公司</p>	
<p>Nissin 株式会社日新化成</p> <p>代表取締役社長 小松 幹也</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>取締役社長 森川 厚孝</p> <p>〒431-2108 静岡県浜松市北区新都田一丁目二二 電話 053-484-1271</p>	<p>信川化学工業株式会社</p> <p>取締役社長 信川 仁道</p> <p>本社 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸2-20-18 電話 03(3697)6246 石岡工場 〒315-0002 茨城県石岡市柏原18-1 電話 0299(23)7181(代)</p>
<p>HARMO 株式会社ハーモ</p> <p>代表取締役社長 濱 秀明</p> <p>〒390-4365 長野県上伊那郡南箕輪村四二二四一 電話 0265-722-0111</p>	<p>代表取締役 池下 龍一郎</p> <p>〒300-0665 茨城県稲敷市幸田六七七 電話 0299-779-2324</p>	<p>平和工業株式会社</p> <p>代表取締役 内藤 雅文</p> <p>〒143-0003 東京都大田区京浜島二丁目二四 電話 03(3779)1031</p>

 <p>代表取締役 鈴木 木雅之</p> <p>株式会社 ホーライ</p> <p>〒980-0821 東大阪市高井田本通り二丁目三十一番 電話 〇六(六七八二) 一一二八一</p>	 <p>株式会社 松井製作所 代表取締役社長 松井 宏信</p> <p>〒171-0014 東京都豊島区池袋2-43-1 青柳ビル11F tel:03-5992-3191(代) fax:03-5992-2910 http://www.matsui-mfg.co.jp/</p>	 <p>代表取締役会長 南 工 藤 郁 雄</p> <p>代表取締役社長 南 広 行</p> <p>丸工化学株式会社</p> <p>〒124-0013 東京都葛飾区東立石一丁目二八番 FAX 〇三(三六九六) 三九〇五(代) 電話 〇三(三六九六) 三九七〇</p>
 <p>代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>株式会社 山下電気株式会社</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03)3740-2401 URL: http://www.yamashita-denki.co.jp</p>	 <p>増田 英輔 代表取締役社長</p> <p>山宗株式会社 関東事業部</p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>	 <p>株式会社 リードンス</p> <p>代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>
 <p>代表取締役社長 金子 信雄</p> <p>株式会社 YPK</p> <p>〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-4 ミヤコビル 電話 03 (3295) 7061 FAX 03 (3295) 9450 支店：東日本・西日本・中部 営業所：仙台・長野・富山・福岡 URL http://www.ypk.jp</p>	<p>東日本プラスチック製品工業協同組合 理事長 滝口 裕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タオル、安全靴、ユニフォーム等の斡旋 ○ 医療共済保険 ○ ETCカード ○ 廃プラ事業 <p>ご用命は下記へ</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル 東日本プラスチック製品工業協同組合 事務局 (高橋) Tel 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324</p>	
<p>東プラ健保に加入して 福利厚生充実を!</p>  <p>東日本プラスチック健康保険組合</p> <p>理事長 時田 周明 常務理事 植田 秀一</p> <p>〒113-0002 東京都台東区柳橋一丁目一四番 電話 〇三(三三六六) 一〇五一(代)</p>	<p>全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会長 齋藤 森 作 副会長 大野 泰 昭 副会長 加藤 藤 一 豊 副会長 後藤 野 鉦 一郎 副会長 奥野 拓 司 専務理事 高橋 野 橋 廣</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL http://www.jppf.gr.jp</p>	

平成二十四年

暑中お見舞い申し上げます

